

秦野市の二酸化炭素(CO₂)排出量推計結果(令和2年度)

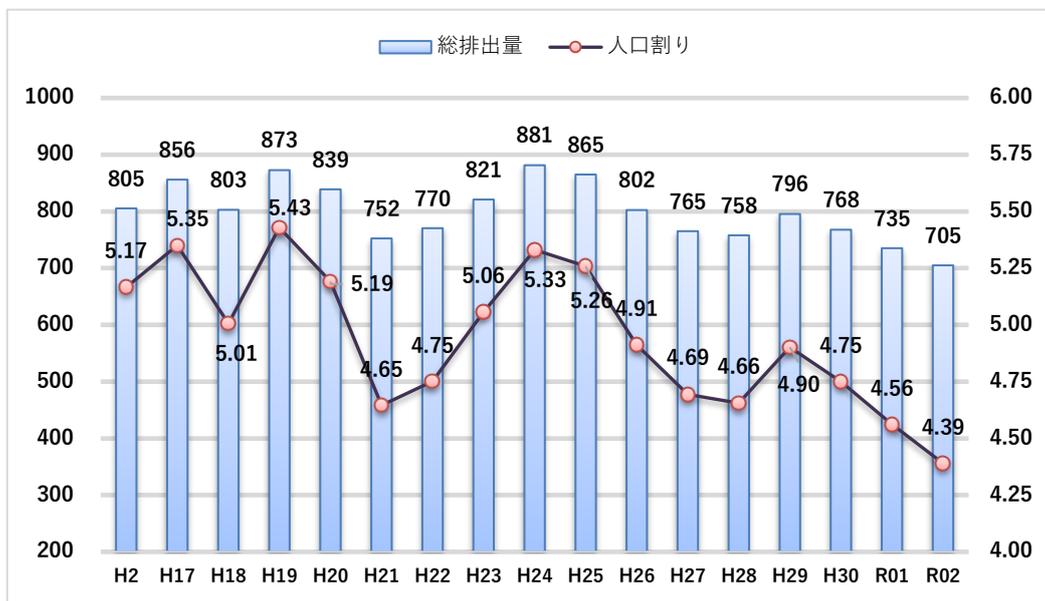
令和5年2月 環境共生課

1 二酸化炭素排出量の推移等

令和2年度の排出量は、705千tで前年度に比べ4.3%(30t)の減少、平成25年度に比べ18.5%(160千t)減少し、人口割りで見る排出量についても、4.39tで前年度に比べ3.7%(0.2t)の減少、平成25年度と比べ16.5%(0.9t)減少しています。

これは、「新型コロナウイルス感染症(緊急事態宣言の発出は2020年4月)」による経済活動の停滞(産業・業務・運輸部門の減少)と、新しい生活様式への移行による家庭部門の増加が如実に反映された結果となった。

二酸化炭素排出量の推移(単位:千t-CO₂【総排出量】、t-CO₂【人口割り】)



2 部門別排出量

平成25年度比は、全ての部門が減少しています。

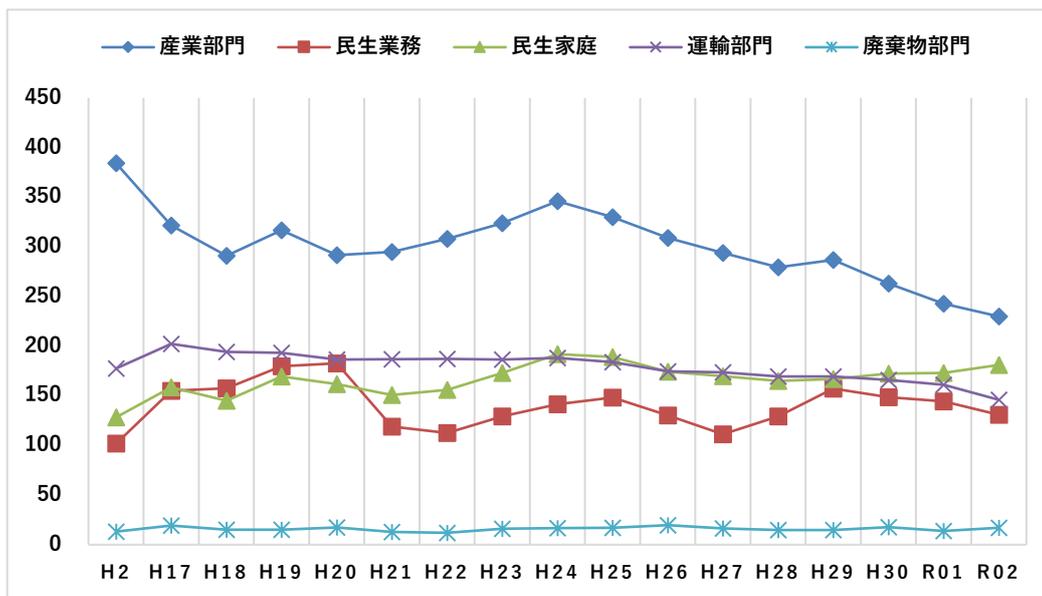
部門別構成比は、民生部門(44%[業務:18%・家庭:26%])が最も大きく、産業部門(33%)、運輸部門(21%)、廃棄物部門(2%)の順となっています。

二酸化炭素排出量の部門別比較(単位:千t-CO₂)

区分	H2 1990	H17 2005	H25 2013	目標値 R12(2030)	R01 2019	R02 2020			
						排出量	H25比	R01比	
産業部門	384	322	330	207(▲37%)	243	230	▲30.4%	▲5.7%	
民生部門	業務	102	154	145	72(▲50%)	144	131	▲9.6%	▲9.9%
	家庭	128	159	189	64(▲66%)	173	181	▲3.8%	4.4%
運輸部門	178	202	184	114(▲38%)	161	146	▲20.9%	▲10.2%	
廃棄物部門	13	19	17	13(▲21%)	14	17	▲1.4%	17.6%	
合計	805	856	865	470(▲46%)	735	705	▲18.5%	▲4.3%	

※四捨五入のため合計値は合わない場合があります

二酸化炭素排出量の部門別推移（単位：千t-CO₂）



3 各部門における比較及び傾向と分析

※増加した部門については、冒頭記載のとおり。

(1) 産業部門（製造業、建設・鉱業、農林水産業）

- ・前年度と比較して **5.7%減少**
- ・25年度と比較して **30.4%減少**
⇒東電排出係数の減少（0.455→0.441）も一因。

(2) 民生部門

ア 業務系

- ・前年度と比較して **9.9%減少**
- ・25年度と比較して **9.6%減少**

イ 家庭系

- ・前年度と比較して **4.4%増加**
- ・25年度と比較して **3.8%減少**
⇒家庭系について、増加傾向にあった世帯数は横ばい。

世帯数の推移	H30(2018年)	R01(2019年)	R02(2020年)
	72,500世帯	73,744世帯	73,741世帯

(3) 運輸部門（乗用車、貨物輸送車、鉄道）

- ・前年度と比較して **10.2%減少**
- ・25年度と比較して **20.9%減少**
⇒車両台数自体は増加しているため、技術革新等も一因。

(4) 廃棄物部門（一般廃棄物の焼却【はだのクリーンセンター】）

- ・前年度と比較して **17.6%増加**
- ・25年度と比較して **1.4%減少**
⇒一般廃棄物（水分除く）に含まれるプラスチック類比率が増加。

プラスチック類比率の推移	H30(2018年)	R01(2019年)	R02(2020年)
	25.1%	21.7%	25.4%